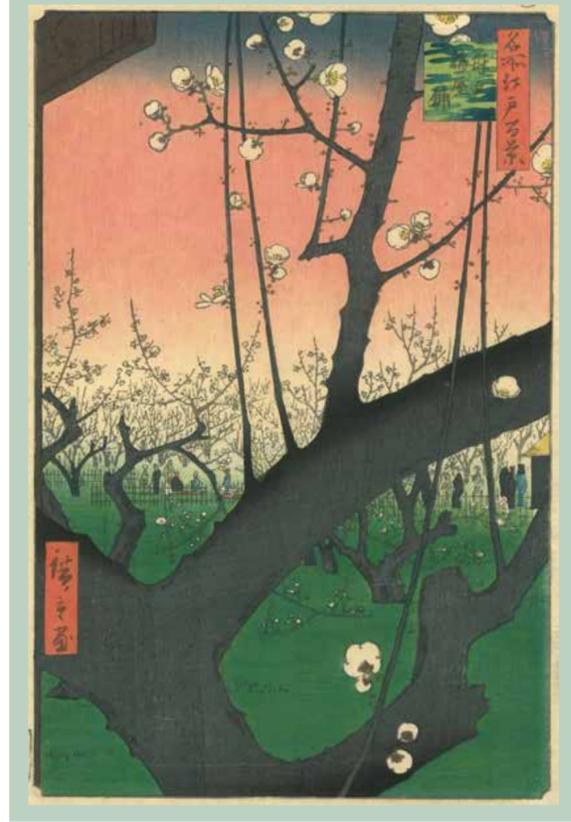




Flowering Plum Orchard (after Hiroshige) Vincent van Gogh

『名所江戸百景』は、歌川広重が1856〜1858年に制作した最晩年の代表作で、幕末の江戸の名所や人々の姿を描いた風景版画集です。近景と遠景を大胆に切り取る構図や俯瞰など、広重が到達した独自の視点の特徴です。代表作『亀戸梅屋舗』では、太い梅の幹を大きく前景に置き、奥に梅林と人々を配した斬新な構図が用いられました。この作品はゴッホが油彩で模写したことも知られ、浮世絵の色彩と構図が西洋美術に影響を与えた例として高く評価されています。



『名所江戸百景』 亀戸梅屋舗 / 歌川広重 (初代) 画

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 誓 発行所/名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

'26 2

名古屋園芸

春を祝う花飾り



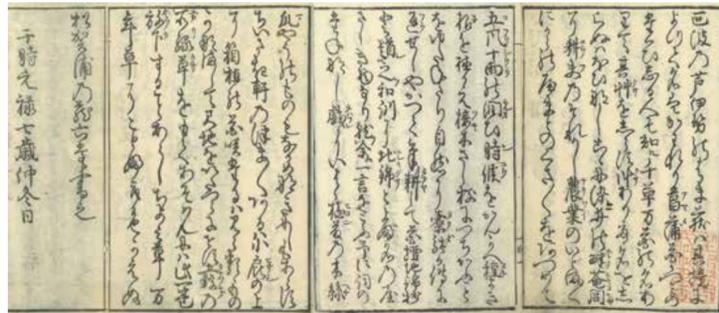
## information

### 新芽を楽しむ カエデ

秋の紅葉の主役といえばカエデですが、実は春の芽生えのシーズンにも魅力がたくさんあります。葉の切れ込みの深さや葉片の長さ、新芽ならではの鮮やかな色までもが品種によって実に様々で、徐々に新芽を展開しながら個々の特徴を表現してくれます。

3月初めより、1階店頭にて「カエデ展」を開催します。本展では30種類ほどが店頭を集まり、コレクションしたくなるミニ盆栽サイズのものも多数入荷します。四季を通して最もコレクションが出揃うタイミングとなります。それぞれの個性を比べながら新芽の動きを観察してみてください。きっとお気に入りのカエデが見つかることでしょう。

◇カエデ展  
開催期間：3月前半～予定  
開催場所：一階店頭にて



## 花の博物館 第361回

### 『花壇地錦抄』

伊藤伊兵衛三之丞 著  
元禄8年(1695) 全六巻五冊  
小笠原 誓

「土地によって植物の呼び名が変わったり、名前を知っていても実物を知らなかったり、その逆もある。草花の世界は広く、すべてを知るのには難しい。染井に住む著者は、農作業の合間に日本や中国の草花を集め、季節や天候を見ながら種まきや植え替え、接ぎ木などを楽しんできた。その経験をまとめて『花壇地錦抄』と名づけた。自分について語ることは特になが、軒先の小さな鉢植えでも花が咲けば楽しいものだ。まして、わずかな土地を無駄にせず草花を育てたい人には、この一冊が役に立つだろう。未永く読まれることを願って記す。」

本文の内容は当時の主力園芸品目、ボタン、ツバキなどの品種解説、用土、肥料の種類や使い方が詳細に書かれています。ベストセラーだったようで京都でも出版されました。今から330年前に著された内容から著者の園芸品種に対する深い洞察や植物を愛する気持ちが伝わってきます。

## ＝花の講座のご案内＝

講座番号13『ふわふわイエローのミモザのリース』  
2/28 土曜日：10:30～11:30

しなやかな枝をもつミモザを使って、春の玄関あしらいにぴったりなリースを作ります。ドライになっていく様子もオシャレな、長く楽しめるリースです。



\*材料費：5,280円 (税込)  
\*講習費：1,100円 (税込)  
\*講師：山田 幸子

講座番号30『コンテナで育てるバラ栽培』  
2/22 日曜日：10:30～11:30

春の花つき抜群の地元・稲沢産超骨太なバラ苗使用！春に見事な花を楽しむための、管理方法や剪定など分かりやすく丁寧に説明します。



\*材料費：4,620円 (税込)  
\*講習費：1,100円 (税込)  
\*講師：小笠原 誓

◇お申し込みは  
花の講座専用電話 TEL：052-937-3391  
受付時間 月～金曜日 10:00～17:00  
Webからもお申込みできます！

名古屋園芸 検索

こちらからもどうぞ →



## 季節のバースデーギフト

2月は、冬から春へと季節が移ろう特別な月。大切な方の誕生日を祝うバースデーギフトにも、ひと足早い春の気配を添えてみてはいかがでしょうか。

主役には、華やかで存在感のあるダリアを。やさしい淡いピンクに、淡いブルーを合わせることで、甘さの中に凛とした上品さが生まれます。バラやアカシア、芽吹きを感じさせる春の草花を添えれば、季節感あふれる特別なアレンジに。



① 春色ダリアのバースデーアレンジ ¥5,000 (税込 ¥5,500)

また、カジュアルに贈れるブーケには、ガーベラやチューリップ、マトリカリアを使い、明るいオレンジ系をベースに淡いブルーを差し色として加えるのもおすすめです。

誕生日はもちろん、バレンタインや感謝を伝えるギフトとしても喜ばれる、心ほだける花贈りをこの季節にぜひ。



② ガーベラとチューリップのバースデーブーケ ¥4,000 (税込 ¥4,400)

## 『花は自由なラブレター』 2.14 Flower Valentine

2月14日はバレンタインデーです。日本では主に女性から男性へチョコレート贈るイベントとして認識されていますが、海外では男性から女性へ花を贈る日として定着しています。日本でもこの10数年ほどの間で、若い方を中心にフラワーバレンタインが少しずつ浸透してきました。

とはいえ、花を贈るという行為はハードルが高い…と感じている方もまだまだ多いはず。でもそんなにかしまらなくて大丈夫です。きれいな花を見つけたから見せてあげよう、くらいの気軽な動機でも良いのです。日頃の感謝の気持ちや愛情を込めた花を家族や友人、パートナーへ。大きくて立派な花束を贈る方もいれば、1輪の花を贈る方もいます。渡し方もそれぞれです。どんな形であっても気持ちを伝えられるのが「花」なのです。

花なんて柄じゃないし…なんて思わずに、今年は気持ちのこもったフラワーギフトを大切なあの方へプレゼントしてはいかがでしょうか。



「愛の象徴」とも言われる赤いバラのブーケ。1本～ラッピング対応いたします。